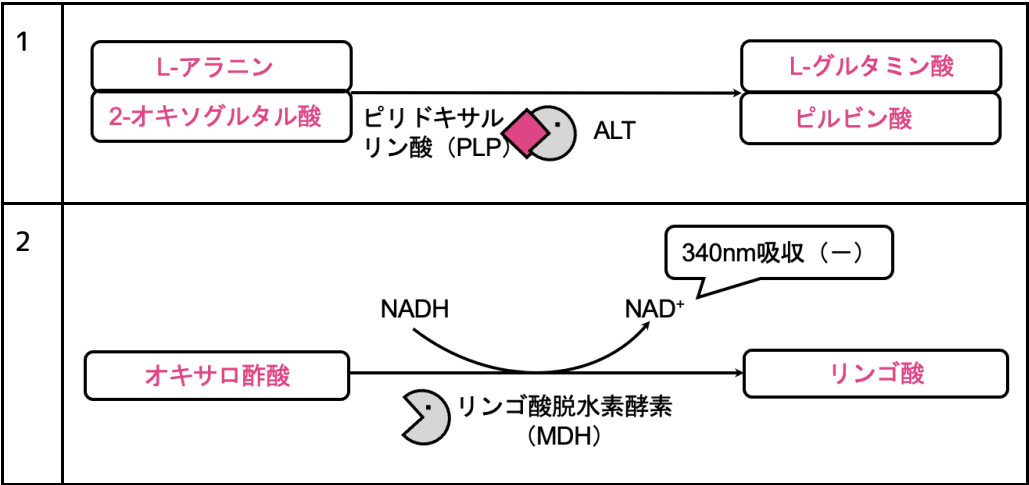


主要8酵素の測定法

AST活性の測定法

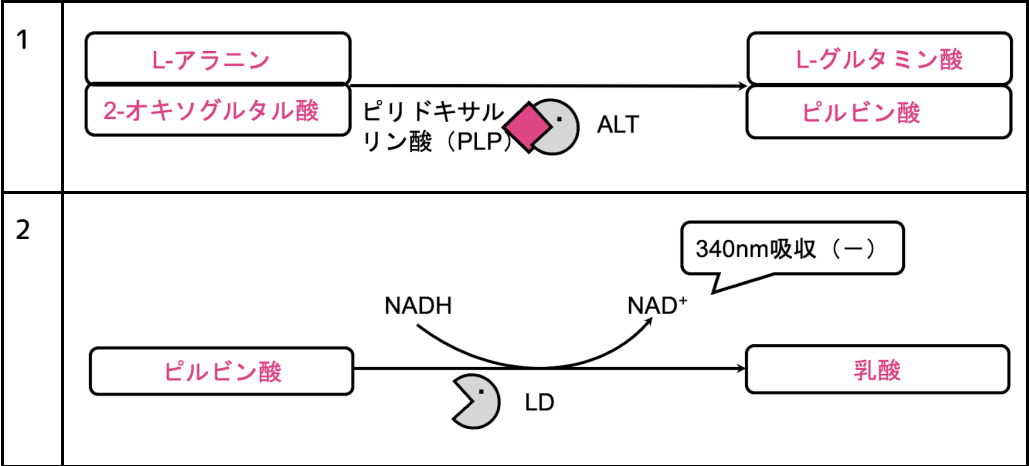
JSCC法（紫外外部吸収法）



※ASTはビタミンB₆であるピリドキシンの誘導体であるピリドキサルリン酸 (PLP) を補酵素とする。PLPと結合した状態の活性酵素をホロ型酵素，結合していない非活性酵素をアポ型酵素という。

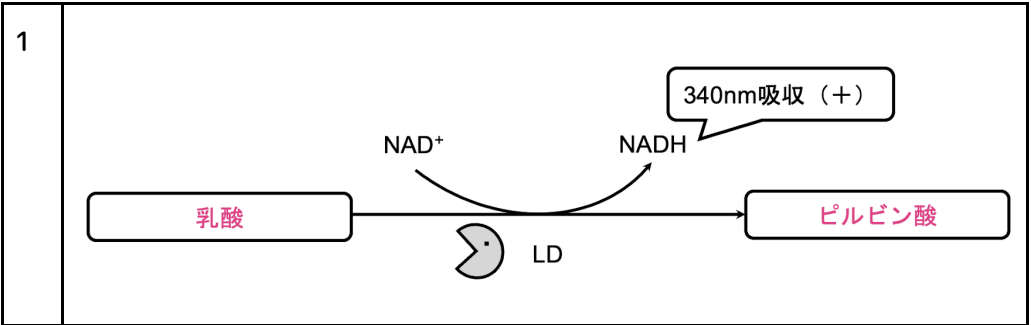
ALT活性の測定法

JSCC法（紫外外部吸収法）



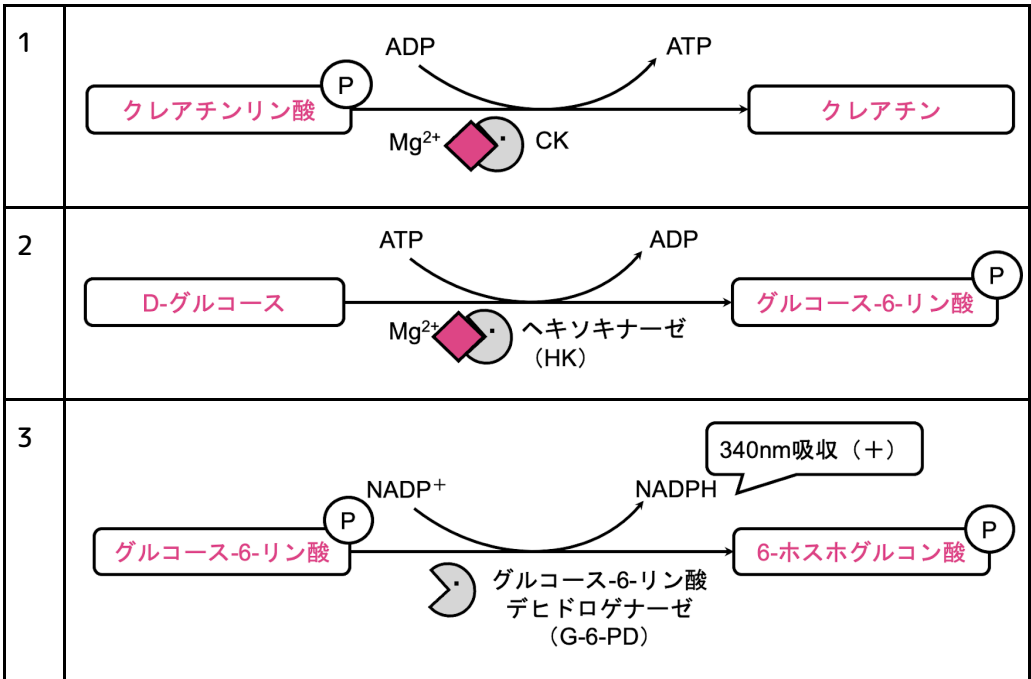
LD活性の測定法

JSCC法



CK活性の測定法

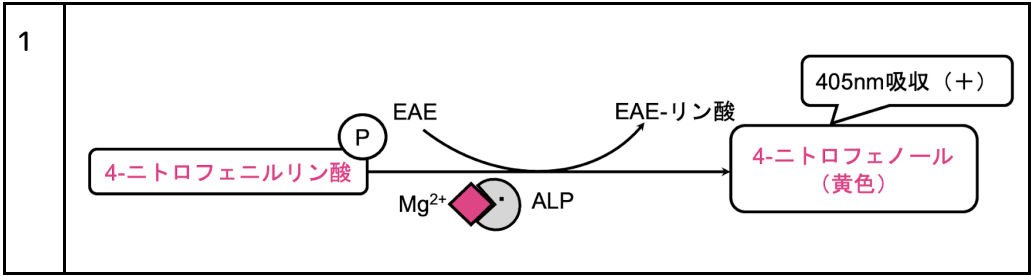
JSCC法



※ 反応式に直接出てこないが、JSCC勧告法の試薬中にはAMPやN-アセチルシステインなども加えられている。

ALP活性の測定法

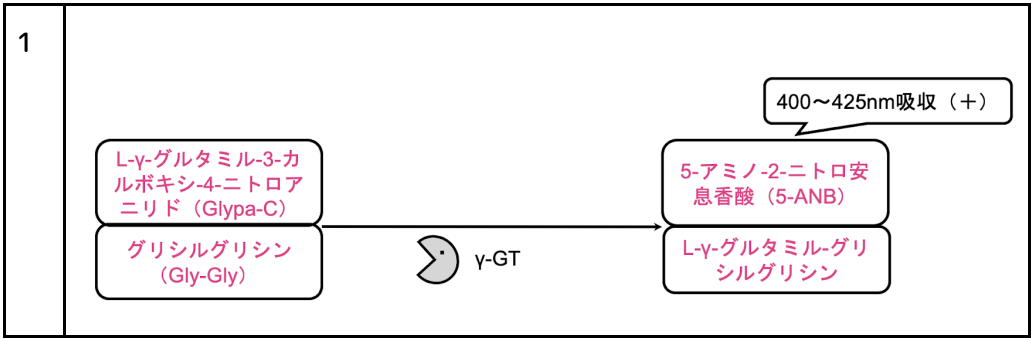
JSCC法



※日本で普及しているJSCC法では緩衝液に2-メチルアミノエタノール（EAE）を用いるのに対し，国際的に普及しているIFCC法では緩衝液に2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール（AMP）を用いる．現在日本臨床化学会は，JSCC法からIFCC法への変更を検討している．

γ-GT活性の測定法

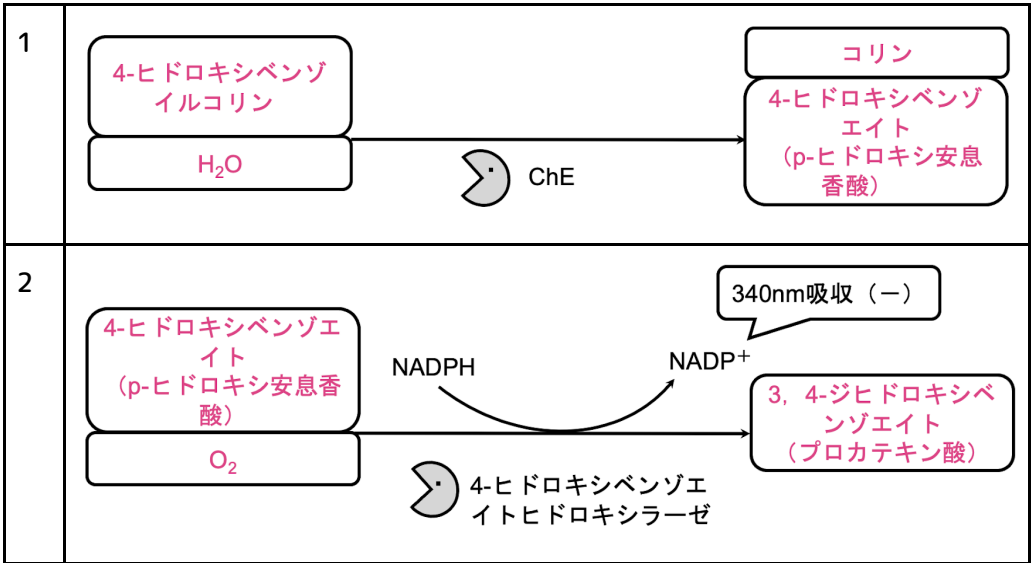
JSCC法



※5-ANBは，3-カルボキシ-4-ニトロアニリンともよぶ．

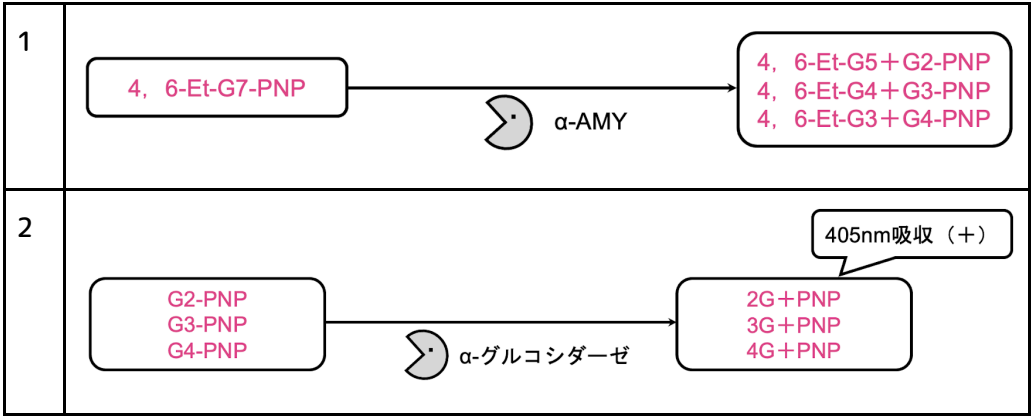
ChE活性の測定法

JSCC法



AMY活性の測定法

JSCC法



※G：グルコース，PNP：p-ニトロフェノール